

<活動内容>

1. スムーズな競技会準備と競技運営

- ・円滑な競技会運営の実施のために、大会開催競技場の施設・用器具の点検、及び大会当日の施設確認を行う。また競技会当日は、関係部署とコミュニケーションを密にとり、競技環境、タイムテーブルに応じた適切な対応をとり、円滑な競技運営を行う。

今年度は、ゴールドゲームズ、関東選手権など、国際大会や県競技会より規模の大きな競技会も実施されるため、トラブルが発生しないよう、より綿密に遂行していきたい、

- ・大会ごとの配置計画表、用器具係手引書による業務内容をもとに、共通理解のもと、業務を行う。
- ・部品の紛失防止、次回の競技場利用の際に、円滑な準備ができるよう、片付け・収納も丁寧に適切に行う。
- ・主管する駅伝競技でも、円滑な競技運営のために、数カ月前よりコースの管理、ポイントの確認、必要物品の調達を行う。当日も事故やトラブルが発生しないよう、コース確認、適切な備品配置の確認を行う。

2. 積極的な研修とルールの熟知

- ・審判講習会、研修会への積極的な参加を呼びかけ、ルールブック・ハンドブックの熟読等で、知識、技術の習得を行う。特に実技講習会への多くの参加を促したい。
- ・競技会開催に合わせ、施設の整備、維持、用器具の管理状況等、競技場施設の情報を、部内共有を図る。また、ルール改正に伴い研修会を要する場合は、必要に合わせ開催する。

3. 県内各競技場の施設、用器具の管理徹底

- ・各地区の担当者が、担当地区に於ける競技場施設、用器具の点検を行う。その上で、修理箇所及び不足数、問題点などある場合は、施設管理担当への整備の依頼を徹底する。必要に応じて当部署へ連絡をしてもらう。当部署は内容を吟味し適切な対応をする。